

# 浜通り地域の復興の現状について



東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所事故から6年半が経過した現在、1日も早い福島の復興に向けて、県全体で様々な取組が着実に進められています。今号では、浜通り地域の復興の現状についてご紹介します。

## 9月に双葉町内の一部地域が特定復興再生拠点区域に認定されました!

### 特定復興再生拠点区域って何?

「改正・福島復興再生特別措置法」(平成29年5月19日施行)に基づき、帰還困難区域の復興・再生のために設定される区域のことです。国の認定を受けることによって、区域内の帰還環境整備に向けた除染・インフラ整備等が集中的に行われます。双葉町においては、新たな産業・雇用の場となる中野地区復興産業拠点の整備に加え、JR双葉駅を中心とする新たな生活の場の確保、既存市街地の再生が進められます。

### 整備スケジュールと避難指示解除の目標

- 平成29年度(2017年度)**
  - 各施設の被害状況調査、意向確認など
- 平成30年度(2018年度)**
  - 中野産業団地①の整備・順次供用の開始
- 平成31年度(2019年度)**
  - JR双葉駅及び自由通路②の整備
  - (仮称)双葉IC③の整備
  - 復興シンボル軸(双葉ICと復興産業拠点を結ぶ区間)④の整備
- 平成31年度(2019年度)末頃まで**
  - 避難指示解除準備区域と駅周辺の一部区域の避難指示解除による立入自由化
- 平成32年度(2020年度)**
  - 産業交流センター⑤の整備
  - アーカイブ拠点施設⑥の整備(県)
  - 復興祈念公園⑦の一部整備(県)
- 平成33年度(2021年度)**
  - 駅西の生活拠点⑧の整備
- 平成34年度(2022年度)春頃まで**
  - 特定拠点全域の避難指示解除による居住開始

### 町の担当者にお話を伺いました!



双葉町役場 復興推進課 課長 平岩 邦弘さん

区域内では今後、どのような手順で復興を進めていきますか。

新たな産業・雇用の場の確保のため、避難指示解除準備区域内へ先行的に産業団地を整備していきます。次にJR常磐線や(仮称)双葉ICといった交通網の整備・開通を進め、交流人口の拡大・賑わいのある拠点作りを目指します。最終的には平成34年春頃までの帰還・生活開始を見据え、整備を進めます。

区域内の除染や生活インフラはいつ頃を目途に復旧するのでしょうか。

避難指示解除準備区域における除染は、平成27年度内に完了しており、生活インフラの復旧については、復興の進捗状況に合わせて進めていきます。産業団地においては、整備を適切に進める上で水・電気・ガスを使用可能な状態にするなど、利用者の不便にならないよう、計画的かつ着実に実施します。

避難者の帰還・定住に向けて、特にどういった整備に力をいれますか。

住民生活の受け皿として、双葉町西口周辺の「新市街地ゾーン」を中心に公共事業としての整備を進めていきます。また駅東口の「まちなか再生ゾーン」についても、民間ベースでの地域づくりを推進します。

区域内の居住人口等の数値目標を教えてください。

避難指示解除から5年後の居住人口目標としては、毎年度実施している住民意向調査の回答に基づき、約2,000人を見込んでいます。また事業所数については、産業団地内でのアンケート結果を元に、約50社を算出しています。



ふくしまの  
今が分かる  
新聞

vol. 60

2017年10月18日

発行: 福島県庁 避難者支援課 ☎024-523-4250



## 双葉町 特定復興再生拠点区域復興再生計画の概要



## 8月に小高赤坂病院が新地町で診療再開しました!



休診していた南相馬市小高区の小高赤坂病院は、8月21日、新地町に診療所「新地クリニック」を開業しました。JR新地駅東側の約1500平方メートルの土地に新設し、精神科・心療内科・内科の3つの診療科目の外来診療を行っています。今後は外来診療以外に、軽作業などを行うデイケア施設の併設を構想しています。小高区での病院再開は未定ですが、小高区の皆さまもお気軽にお立ち寄りください。

☎ 医療法人創研会 新地クリニック ☎0244-63-2700

## 7月19日から今季のシラス試験操業が開始されました!



相馬双葉漁業組合による今季のシラス漁の試験操業が、7月19日に始まりました。相馬市の松川浦と磯部、新地町の釣師浜、南相馬市の真野川、浪江町の請戸の各漁港から22隻が出港し、相馬地区の沿岸部にて約4.9tを水揚げしました。昨年より操業海域が拡大されるとともに、入札による販売も再開されるなど、本格操業に向け着実に歩を進めています。

☎ 福島県庁 水産課 ☎024-521-7374

# 10月から広域幹線バス2路線が運行開始しました!

今年10月1日から、帰還住民の足を確保し、避難者の帰還促進を図るための広域幹線バスが4月1日運行開始の3路線に加えて、新たに2路線運行を開始しました。また、来年4月には富岡～川内間での運行が想定されています。



## ④川内～小野新町～上三坂車庫線

**【運行経路】**  
ゆふね(川内村)～小野新町～上三坂車庫(いわき市)

**【運行日数】**  
平日のみ 1日3往復

**【運行会社】**  
新常磐交通株式会社  
☎0246-46-1646

## ⑤医大経由 南相馬～福島線

**【運行経路】**  
南相馬市～飯館村～川俣町～福島市

**【運行日数】**  
平日・土日とも6往復

**【運行会社】**  
福島交通株式会社  
☎024-533-2132

## ⑥富岡～川内方面

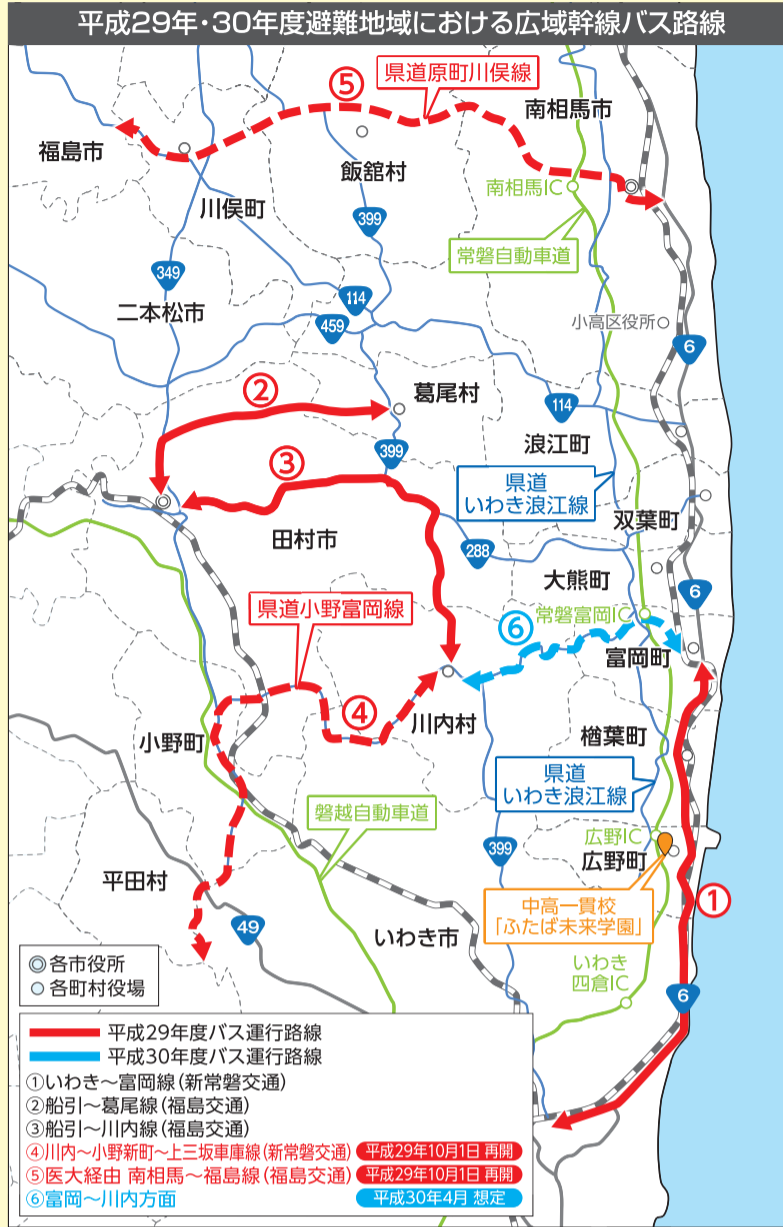
**【運行経路】**  
～調整中～

**【運行日数】**  
～調整中～

**【運行会社】**  
～調整中～



☎福島県庁 生活交通課  
☎024-521-7177



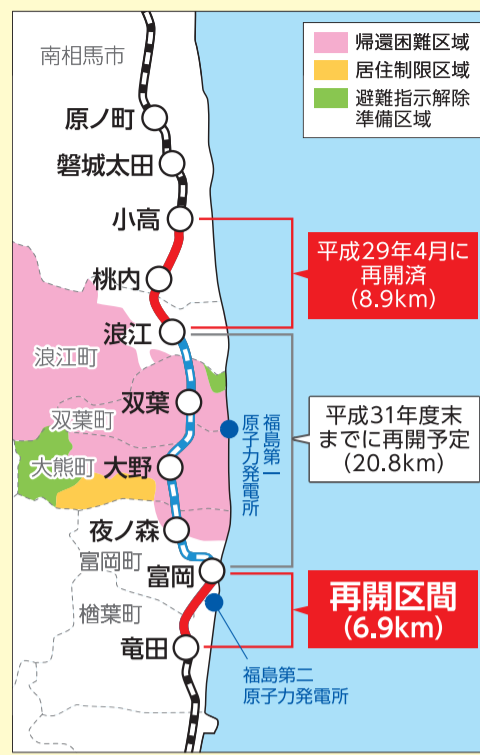
# 10月21日からJR常磐線竜田～富岡間が運転再開します!

10月21日に竜田～富岡間(6.9km)が6年半ぶりに開通します!

これに伴い、代行バスの運転区間は富岡駅～浪江駅(1便のみ原ノ町駅まで)に縮小され、運行本数は上下合わせて1日8本から22本に増便されます。不通区間の富岡～浪江間(20.8km)は平成31年末に運転再開予定です。



☎福島県庁 生活交通課  
☎024-521-7177



# 12月10日にふくしま・アーカイブフォーラム2017が開催されます!

福島県が現在整備を推進している情報発信拠点(アーカイブ)施設の周知と開館への機運醸成を目的に、シンポジウムを開催します。是非ふるってご参加ください!

**日時** 12月10日(日)  
午後1時30分～3時30分

**場所** 福島市宮代乳児池1-1  
福島学院大学 千葉記念ホール

**参加費** 無料(要予約)

☎福島県庁 生涯学習課 ☎024-521-7784



# 三世同居・近居住宅を取得する際に軽減措置が受けられます!

子育て支援策の一環として、18歳未満の方を含む三世以上の方が同居または近居する住宅を平成29年4月1日から平成32年3月31日までに取得した場合、取得した住宅に係る不動産取得税が2分の1に軽減されます(福島県内の住宅に限ります)。詳しくは下記までお問い合わせください。



問い合わせ先	電話番号	問い合わせ先	電話番号
県北地方振興局	☎024-521-2694	南会津地方振興局	☎0241-62-5214
県中地方振興局	☎024-935-1254	相双地方振興局	☎0244-26-1126
県南地方振興局	☎0248-23-1517	いわき地方振興局	☎0246-24-6033
会津地方振興局	☎0242-29-5254	福島県庁 税務課	☎024-521-7068

# 読者アンケート

抽選で5名様にプレゼントが当たります!

『うまかんべ工房のポークシリーズ』5名様

(生ハムスライス、トントロスモークスライス、あらびきロングウインナー、レバーペースト 各1袋)

郵便はがきに必要な事項をご記入の上、切手を貼ってお送りください。  
※個人情報商品の発送にのみ使用いたします。



12月8日(金)  
※当日消印有効

- 960-8670  
福島県庁 避難者支援課 「今が分かる新聞」係
- アンケートの回答
  - 記事の感想、今後取り上げてほしい情報、その他ご意見など
  - 住所・氏名・年齢・電話番号

アンケートの質問 どの辺り応募してね!  
福島の冬で楽しみなことは? 食べ物、行事、ウィンタースポーツなどご自由にお書きください。

多くのご意見をお寄せいただき誠にありがとうございました。

あなたが感じる福島の夏の訪れといえは?

- 豊間の海岸の「鳴き砂」。(いわき市 男性)
- 「桃」の収穫と道沿いに売られている「桃」売りです。(栃木県 女性)

記事の感想、今後取り上げてほしい情報

- 福島の観光について取り上げてほしい。(静岡県 男性)
- 避難指示解除になった町や村の今の取組などが知りたい。(会津若松市 女性)

# 9月13日にひろの映像教育プロジェクト完成作品上映会が開催されました!

9月13日、広野小学校体育館にて、ひろの映像教育実行委員会(広野町、広野町教育委員会、広野中学校)主催の「いいな広野わが町ーふるさと創造・映像教育プロジェクトー」完成作品上映会が行われました!(制作サポート:一般社団法人リテラシー・ラボ 後援:オーストラリア大使館)

本プロジェクトは、広野中学校1年生を対象に、平成27年度から双葉郡で実施されている映像教育支援事業で、地域の今をテーマに映画制作に挑戦してもらうことで、生徒のメディア・リテラシー習得と地域理解を目指す取組です。



生徒達は、1学期を通じて制作に向けたテーマ設定や予備取材を行い、9月11日から12日にかけて集中的に取材・撮影を実施しました。当日は5作品が上映され、上映後には日本映画大学の中山周治氏から、作品ごとの講評もいただきました。

町の担当者にお話を伺いました!



広野町教育委員会 学校教育課 学校教育係 鯨岡 圭介さん

プロジェクトを開始した経緯を教えてください!

震災の影響を受けた双葉郡で実施されている「ふるさと創造学」として日本映画大学と毎日映画社の協力を得て、映像制作により心の復興・地域理解・郷土愛を育む有用な活動として取り組みが始まりました。

3年目を迎える現在、どんな意気込みで取り組みを行っていますか?

先輩達(2,3年生)の活動を踏襲しながら、広野町のいいところを再発見し、地域へ感謝の気持ちを発信していきたいです。また、ドローン等の新たな技術を活用するなど、作品づくりに工夫や仕掛けを凝らしています。

今後の活動について一言お願いします!

映像制作を特別な活動ではなく日常の学習に活用し、発信力の向上によって生徒達と地域の自信につながればと思っています。また、シネリテラシーの発祥地であるオーストラリアと映像教育を超えた交流へと発展させていきたいと考えています。

この活動を通して関わった講師や大学生などの支援者と、世代間・地域間の交流を育んでいきたいと思っています。

☎ひろの映像教育実行委員会 事務局 ☎0240-27-4166  
一般社団法人 リテラシー・ラボ ☎080-1054-0872 (代表:千葉)



「ふくしまの今が分かる新聞」バックナンバーはこちら  
福島 今が分かる新聞 検索



編集 後記

朝晩の冷え込みが強くなり、秋を感じる季節になってきました。秋は何をするにも良い季節ですが、私は「食欲の秋」として過ごそうかと思っています。旬の食べ物とおいしいお酒を存分に堪能したいです。皆さまもこの秋、福島のおいしいお酒を味わってください。【く】